



喜びに会う

「風の便り」、「虫の知らせ」という日本語があるように、日本人は自然の声を感じ取る感性が豊かです。また俳句のリズム、能や狂言の動と静、彩りと盛付けの和食など、日本文化は表現の美しさがあり、世界文化遺産にも登録されています。本財団では、感性がもっとも育つ幼児期に、本物の文化芸術に触れる体験プログラムを会員園で実施しております。ダンス、楽器、世界の文化芸術を観る、聴くだけでなく、実際に踊る、奏でる、表現することで心躍る「感動体験」が味わえます。3月開催の「第12回幼児文化芸術祭」では、会員園の親子が一同に会し、華やかな文化芸術を鑑賞し、親子舞踏会で踊り、フィナーレでは希望の歌(交響曲第9番編曲)を参加者1500人で大合唱いたします。

幼児教育は、非認知能力(心の力)が育ちます。お子さまが様々な文化芸術にふれ、体験を通して自信をもち、未来に生きる喜び、大好きなことに会える一年となることを願っております。

(一財)幼児文化芸術協会 会長 岡田勝彦(栄光八事幼稚園、鳴海ヶ丘幼稚園 園長)



会員園

栄光八事幼稚園(天白区)
小幡あさひ幼稚園(守山区)
志だみ幼稚園(守山区)
東郷旭丘幼稚園(東郷町)
とみよし幼稚園(愛西市)
名古屋西幼稚園(西区)
鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
日進旭丘幼稚園(日進市)
美里幼稚園(豊田市)
※50音順

志だみ幼稚園 『民族楽器を楽しもう』



5月20日(月)に「アルパ」を体験しました。ハープの一種で“ラテンハープ”とも“インディアンハープ”とも呼ばれる楽器です。年に数回ではありますが、本物に触れる日も設けていて今回もその一つです。幼児文化芸術体験を3年間の中で計画を立てています。こども達にとっては3年間でたった一回の体験となりますが、心に響くものがあれば願っています。今回のアルパの演奏も鑑賞するだけではなく、実際に触れさせていただきました。自分で弦を弾いて音が出た時のこどもの表情は、なにものにも変えがたい良い表情をしていました。年長組ともなると「きれいな音!」「オルゴールみたい」などと、感じたままを口にしていました。年中・年少さんは体験できることが嬉しかったようで「もう一回やりたい!」「もっと!」などの声が聞こえてきました。ただ演奏を聴くだけでなく、こども達にとっては遊びのひとつとしてこのような貴重な体験ができることがなによりでした。



日進旭丘幼稚園

『みんなで楽しく親子ヨガ』



6月9日(日)に家族参観を開催しました。今年は「ヨガの体験を通して親子の絆を深めよう!」のテーマのもとに取り組みました。今回初めてヨガを知るお友だちも多く、「ヨガって何?」「食べ物?」とお家の方に質問する場面も見られました。ヨガを始めるにあたり、まずは向かい合ってご挨拶。少し照れ臭そうな表情が印象的でした。前半は親子でペアになり、腕や足などを伸ばしながら、体を柔らかくしていきます。体がほぐれて盛り上がりきたところで、今度は全員で大きな輪になり、ピアノのリズムに合わせて一緒に歩いたり、トンネルをくぐったりしました。上手にできると、ご褒美の抱っこ😊持ち上げられると「キャー」という歓声がわき、笑みがこぼれていました。



鳴海ヶ丘幼稚園 『心身に響く音!金管楽器』

6月19日(水)の文化芸術プログラムは『金管楽器』。ホールに入ると、金色に輝く楽器を眺める子どもたち。登場した講師の先生がトランペットを演奏すると、「ぶ〜」と唇を震わせて真似ていました。楽器が大きいと低い音♪楽器が小さいと高い音♪と教えてもらって、静かに耳を澄ませて聴き比べていました。次に、お話の時間です。講師の先生方がお面をかぶって登場!!何が始まるのかな?『こぶたのマーチ』のお話のはじまりはじまり😊楽しいお話と、トランペットやピアノの音色。子どもたちは、こぶたのルーの気持ちになったり、音やリズムを感じていました。最後は、聖者の行進の曲に合わせて、体を揺らしたり、手拍子をしたり、踊りだす子もいて、盛り上がりました。子どもたちの表情からも、充実した時間が過ごせたことが、実感できました。



第11回 夏季保育者研修会 8月5日(月)開催予定 / 栄ガスビルにて
実践を通して幼児教育のレベルアップを目指します。

第1講座:「美しくステキな先生になるために」 講師:川地 美伸子 先生
第2講座:「エガオノチカラを歌声に」 講師:榊原 佳子 先生
第3講座:「身体の声を聴きましょう」 講師:西村 和子 先生